

震災復興橋梁 × 震災復興小公園 まちあるきマップ



大正12年（1923年）9月1日に発生した関東大震災で、東京市は甚大な被害を受けましたが、その後の震災復興事業により、多くの施設が整備され、帝都復興を果たしました。

今年で関東大震災から100年を迎えますが、当時建設された施設は、今でも私たちの生活を支えています。

この機会に、昭和初期の土木遺産を巡って、震災の教訓を再認識し、今後の災害への備えについて考えてみませんか？

表紙写真 左上：萬年橋 右上：川南公園
左下：元加賀公園 右下：小松橋

令和5年11月発行 令和6年8月訂正
発行元：江東区土木部

江東区ホームページ
震災復興橋梁HP 震災復興小公園HP



江東区
関東大震災100年
幾多の災害を乗り越えてきた東京
備えよう、明日の防災

2023年
関東大震災100年



※工事を予定している緑橋と弁天橋は除く

説明看板について

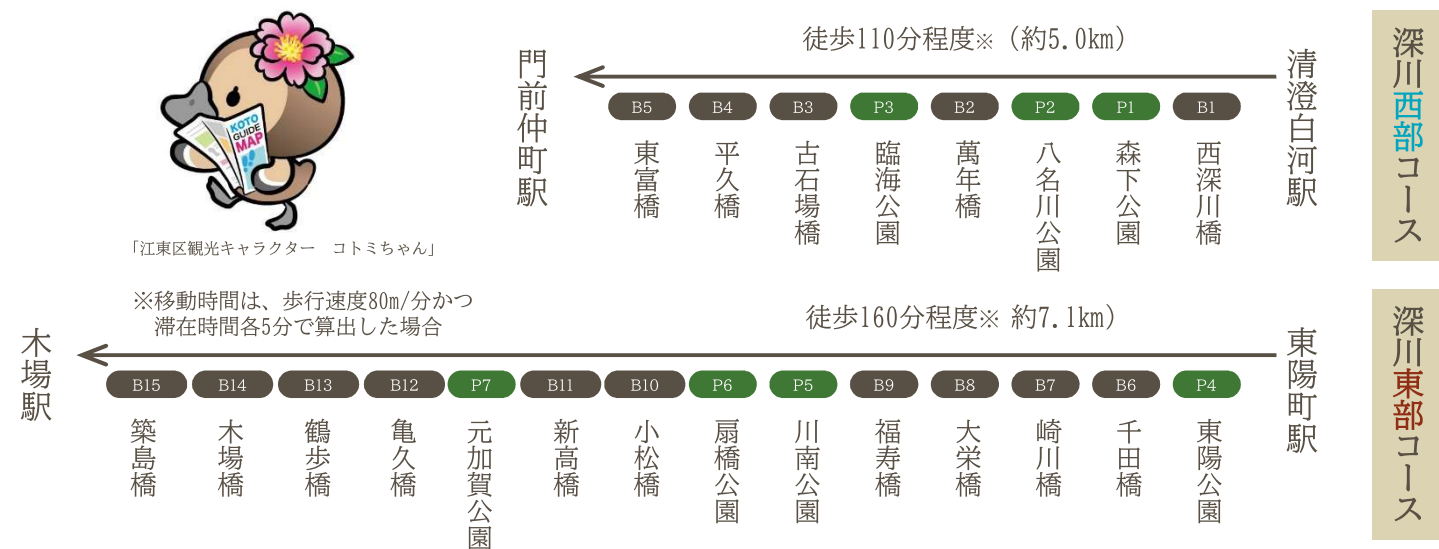
関東大震災から100年を迎えるにあたり、過去の記憶や歴史的価値を広く継承し、防災意識の啓発を図るため、震災復興橋梁と震災復興小公園に説明看板を設置しました。



東富橋



臨海公園



関東大震災

大正12年（1923年）9月1日の午前11時58分、神奈川県西部（または相模湾北西部）を震源とするマグニチュード7.9の大地震（大正関東地震）が発生しました。

東京市では、木造家屋の倒壊、近代西洋建築の崩壊のみならず、地震直後から火災が発生し、風にあおられ延焼範囲が拡大しました。その結果、東京市の6割が灰塵に帰し、火災と共に起こった火災旋風により多くの人々が生命を落としました。



焦土の帝都
「出典」復興（東京市編、1930.03）
画像提供：公益財団法人後藤・安田記念東京都市研究所
市政専門図書館

震災復興橋梁

震災前、東京市の橋の大部分は木橋で、火災により木橋の65%強、鉄橋の81%強、全体の50%強が被害を受けました。

震災直後から昭和5年（1930年）にかけて、復興事業の一環として架けられた橋梁は「震災復興橋梁」と呼ばれています。

東京市では、8年間で約400橋が架けられ、江東区域にも多くの「震災復興橋梁」が架けられました。

復興計画では、「震災復興橋梁」をすべて耐震耐火構造とし、幅員は道路と同一にすることで、交通上の便宜と安全の確保を図る計画でしたが、予算上の問題などから本所区・深川区では、多数の木橋も架けられました。

一部の橋は、改修や補修を重ねながら、現在も都市の交通を支えています。



復興後の永代橋



被災した永代橋と焼け落ちた電車仮橋

「出典」復興（東京市編、1930.03）
画像提供：公益財団法人後藤・安田記念東京都市研究所
市政専門図書館

震災復興小公園

被災した都市の復興事業では、公園の計画が重視され、大正13年（1924年）「震災復興公園」を設置することが決まりました。

震災復興公園には、3大公園（錦糸公園、浜町公園、隅田公園）と52箇所の小公園があります。江東区内には、7箇所の小公園が設置されました。震災復興公園は、小学校に隣接して設置され、近隣住民の憩いの場やコミュニティの中心、地域における防災拠点としての役割を担ってきました。

また、公園の特徴としては、広場を中心とした設計がされており、広場に面して、ステージ（あずまや・藤棚などが設置されている休憩エリア）があるところです。戦後、小公園の管理は東京都から区に移管され、改修が重ねられ現在に至っています。



東陽公園 画像提供：土木学会附属土木図書館

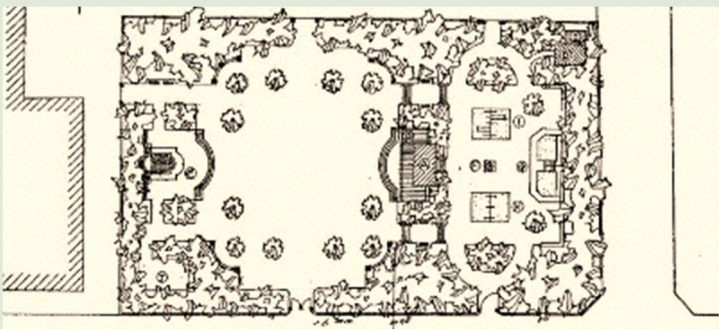
B1	西深川橋	
所 在 地：	森下3～白河1間小名木川に架かる	
橋梁形式：	一径間ワーレン鋼構橋	
橋 長：	56.1m	
架設年月：	昭和5年2月	
B2	万年橋	
所 在 地：	常盤1～清澄1間小名木川に架かる	
橋梁形式：	一径間下路単純タイドアーチ橋	
橋 長：	56.3m	
架設年月：	昭和5年11月	
B3	古石場橋	
所 在 地：	牡丹2～牡丹1間古石場川に架かる	
橋梁形式：	三径間突桁式鋼鈹桁橋	
橋 長：	19.0m	
架設年月：	昭和4年3月	
B4	平久橋	
所 在 地：	牡丹3～木場1間平久川に架かる	
橋梁形式：	一径間ワーレン鋼構橋	
橋 長：	32.0m	
架設年月：	昭和2年8月	
B5	東富橋	
所 在 地：	富岡2～牡丹3間大横川に架かる	
橋梁形式：	鋼単純プラットトラス橋	
橋 長：	40.5m	架設年月：昭和5年2月

P1	森下公園	
所 在 地：	森下2-5-16	
面 積：	2,976.07㎡	
開 園 年：	昭和5年	
P2	八名川公園	
所 在 地：	新大橋3-1-18	
面 積：	2,973.06㎡	
開 園 年：	昭和5年	
P3	臨海公園	
所 在 地：	門前仲町1-1-1	
面 積：	2,642.91㎡	
開 園 年：	昭和5年	
P4	東陽公園	
所 在 地：	東陽3-27-27	
面 積：	3,038.58㎡	
開 園 年：	昭和2年	
P5	川南公園	
所 在 地：	千石2-9-22	
面 積：	2,975.31㎡	
開 園 年：	昭和6年	
公園の特徴	川南公園は、イチョウやケヤキといった大木が外周に植樹され、園内は広場と遊具広場に分かれています。広場の西側には開園当初からの2方向すべり台が現存しています。川南の名称の由来はもとのこの地の地名で水運の動脈であった小名木川の南に位置していたことからつけられたと言われています。	

B6	千田橋	
所 在 地：	千石2～東陽6間仙台堀川に架かる	
橋梁形式：	三径間連続非合成鈹桁橋	
橋 長：	38.7m	
架設年月：	昭和4年12月	
B7	崎川橋	
所 在 地：	平野4～木場4間仙台堀川に架かる	
橋梁形式：	一径間ワーレン鋼構橋	
橋 長：	36.2m	
架設年月：	昭和4年9月	
B8	大栄橋	
所 在 地：	平野4～千石1間大横川に架かる	
橋梁形式：	一径間ワーレン鋼構橋	
橋 長：	37.6m	
架設年月：	昭和4年11月	
B9	福寿橋	
所 在 地：	平野4～千石1間大横川に架かる	
橋梁形式：	一径間ワーレン鋼構橋	
橋 長：	39.1m	
架設年月：	昭和4年9月	
B10	小松橋	
所 在 地：	猿江2～扇橋1間小名木川に架かる	
橋梁形式：	一径間ワーレン鋼構橋	
橋 長：	55.9m	
架設年月：	昭和5年1月	



P6	扇橋公園	
所 在 地：	石島18-23	
面 積：	2,975.24㎡	
開 園 年：	昭和5年	
P7	元加賀公園	
所 在 地：	白河4-3-27	
面 積：	2,975.21㎡	
開 園 年：	昭和2年	
公園の特徴	中央に藤棚があり、東側に遊具広場、西側に広場の配置は開園当初から大きく変わっていません。広場の西側には開園当初からの壁泉が残っています。	



B11	新高橋	
所 在 地：	森下5～白河4間小名木川に架かる	
橋梁形式：	一径間ワーレン鋼構橋	
橋 長：	56.1m	
架設年月：	昭和5年1月	
B12	亀久橋	
所 在 地：	平野2～冬木間仙台堀川に架かる	
橋梁形式：	一径間ワーレン鋼構橋	
橋 長：	34.2m	
架設年月：	昭和4年12月	
B13	鶴歩橋	
所 在 地：	冬木～木場3間平久川に架かる	
橋梁形式：	一径間ワーレン鋼構橋	
橋 長：	39.8m	
架設年月：	昭和3年7月	
B14	木場橋	
所 在 地：	木場3大島川東支川に架かる	
橋梁形式：	一径間プラットトラス鋼橋	
橋 長：	27.0m	
架設年月：	昭和4年2月	
B15	築島橋	
所 在 地：	木場2大島川東支川に架かる	
橋梁形式：	一径間下路式鋼鈹桁橋	
橋 長：	22.9m	
架設年月：	昭和5年6月	

